

# 先生に感謝！恩返しのお気持ちで！！

PTA 会長 西尾 年恵

学校までの坂道を早何年上がってきたのでしょ。新学年になると、桜のトンネルが祝福してくれるように感じ、不安だった心を和らげてくれます。ご入学ご進級おめでとうございます。平成31年度（令和元年）、創立40周年の年にPTA会長を務めさせていただきます西尾年恵です。



「PTAって要るの?」「PTA役員になりたくない!」と思われる方がいらっしやると思います。個々の児童・生徒は先生と関係が密であるとすれば、PTAは学校と関係を築くものです。PTAがなかったら学校への要望も一人で行うしかありません。PTAがあれば、保護者多数の意見として学校に伝えることができ、話し合いになるかもしれません。保護者個人としては小さな力ですが、PTAとなれば大きな力を生むことができると考えると、PTAは必要不可欠です。PTA会長になるのは、大変な勇気と覚悟が要りましたが、役員の皆様同様、すべては私たちの大切な子どものためなのです。PTA役員はボランティアです。でも、100%ボランティアでない様に思えます。ただただ子どものためなのです。PTAの大きな力で「スポレク」や「親子ふれあい祭り」を盛り上げていきます。私事ですが、支援学校に通う次女のためになかなか時間がとれません。この様な機会に親子で楽しむ時間をもてたらうれしく思います。皆様の参加をお待ちしています。ベルマークを一枚でも出すことや資源回収へ出すという参加もありがたいです。活発なPTAと学校の二本柱で良い相互関係があつてこそ、良い学校が創られていくのではないのでしょうか。

私は歌が好きなのですが、心に響く歌は数多くあります。その一つ「365日の紙飛行機」の歌詞に人生を紙飛行機たとえ、「その距離を競うより、どう飛んだかどこを飛んだのか、それが一番大切なんだ」とあります。聴く度に涙が溢れてきます。この学校へ通う子どもたちの多少険しいかもしれないこれからの人生が、少しでも心豊かなものになればと願い、挨拶とさせていただきます。

<本校 PTA 会報「もえぎ」PTA 会長挨拶より 6/14 発行予定>